



SAPPORO

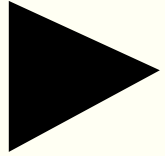
2018年度 第3四半期 決算説明資料

Sapporo Group Business Results Presentation
for the Nine Months Ended September 30, 2018

2018年11月2日

URL <http://www.sapporoholdings.jp>

<2018年 第3Qのポイント>



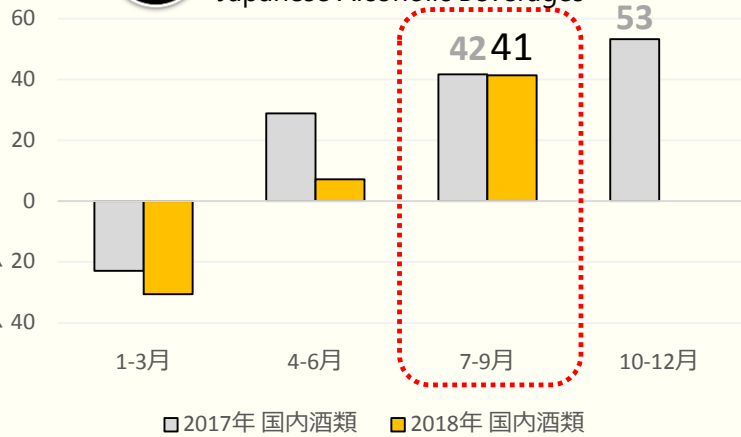
天候不順や自然災害の影響を受けながらも、各事業で業績は回復傾向

<Qごとの営業利益水準（前年対比）>



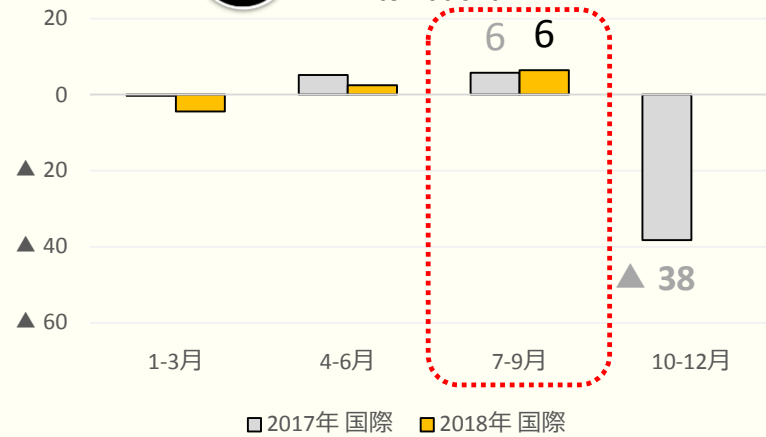
国内酒類事業

Japanese Alcoholic Beverages



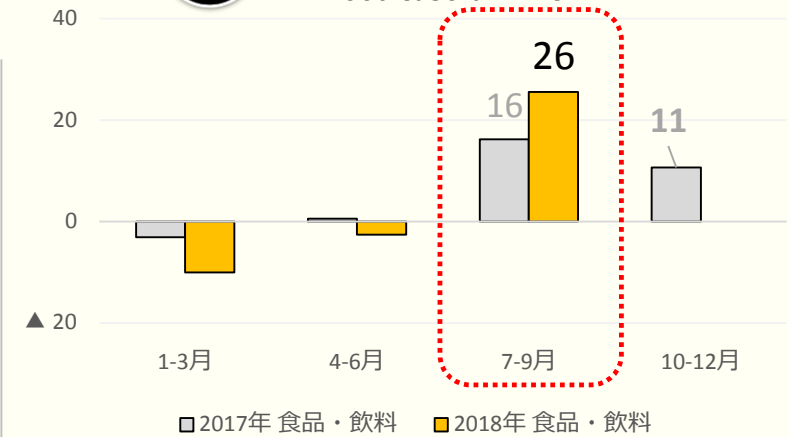
国際事業

International



食品・飲料事業

Food & Soft Drinks



★7-9月のポイント

震災の影響を強く受けるも、前年並みの利益水準に

<計画達成に向けて>

10-12月で対前年+4億円の増益が必要。
総需要に対して、強いトレンドを維持している
黒ラベルや、好調に推移している「99.99
(フォーナイン)」などを取り組みを進める。

★7-9月のポイント

ベトナムの黒字化が寄与し、前年を上回る

<計画達成に向けて>

10-12月で対前年+45億円の増益が必要。
前年の第4Qはベトナムの減損により約▲27億円の減益となっている他、SSC社の業績悪化により
下期で▲10億円を超える損失を計上している。
ベトナムの減損影響が無くなることに加え、
SSC社とCPF社の統合による経営改善により、
計画達成を目指す。

★7-9月のポイント

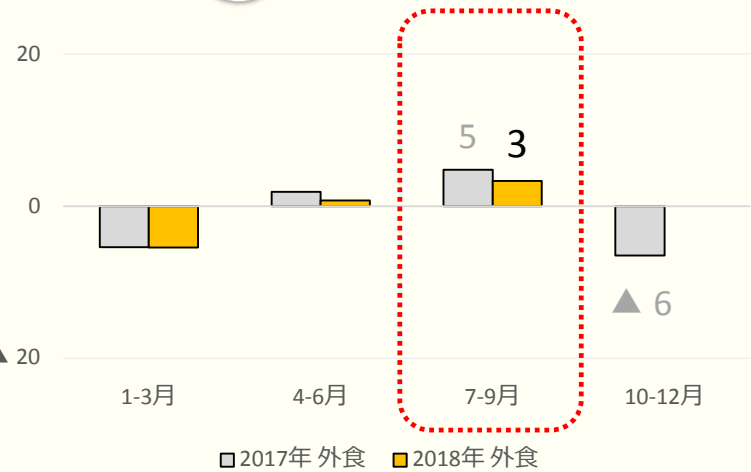
災害による物流網の混乱を乗り越え、増益で着地

<計画達成に向けて>

10-12月で対前年+13億円の増益が必要。
スープ等の最盛期である第4Qに積極的な販促活動を
展開することで、計画の達成を目指す。



外食事業
Restaurants

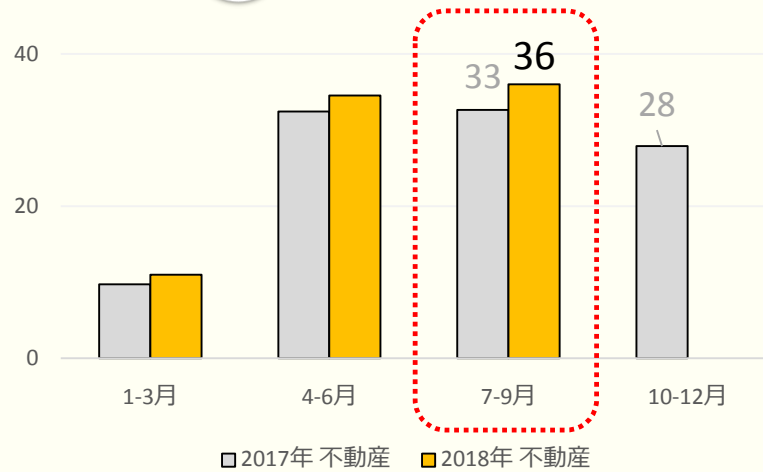


★7-9月のポイント
既存店の苦戦に加え、震災による減収が響く

<計画達成に向けて>
10-12月で対前年+8億円の増益が必要。前年の第4Qは一部店舗の減損等で▲6億円を計上している。食材や人件費の高騰など厳しい経営環境が続くも、メニューコントロールやオペレーションの改善が進んでおり、好調な新店や改装店を軸に計画達成を目指す。



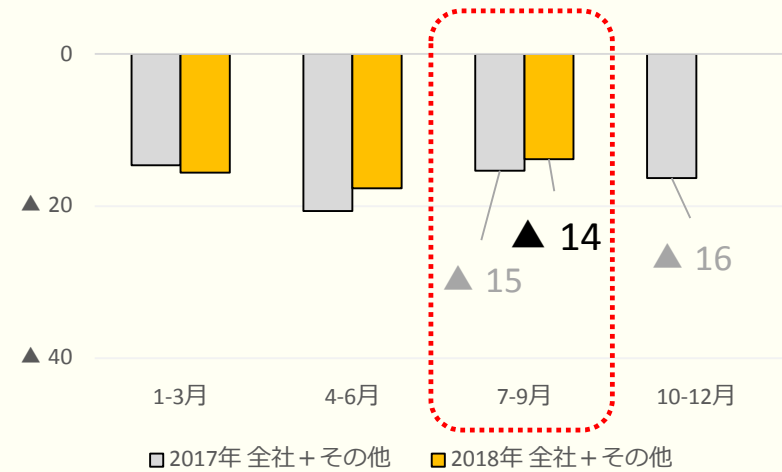
不動産事業
Real Estate



★7-9月のポイント
引き続き収益性の向上が進み、好調な業績

<計画達成に向けて>
震災等の影響による修繕が発生予定も、上方修正した計画を手堅く達成できる見込み。

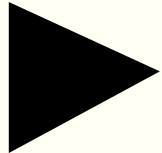
全社費用・その他
Corporate・Other



★7-9月のポイント
全社コストの削減を推進

<計画達成に向けて>
全社費用のコスト圧縮を進めており、修正計画の水準で着地する見込み。

(単位：億円)



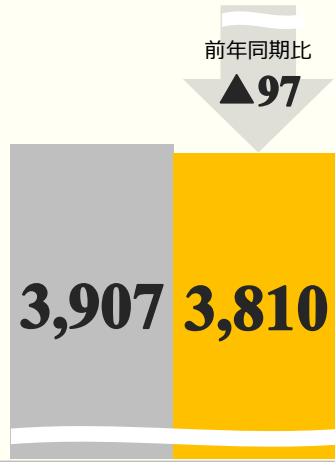
上期の不調が響き減収減益だが、 7-9月の営業利益は約13億円の増益基調に

売上収益

Revenue

■ 2017 3Q (IFRS)

■ 2018 3Q (IFRS)



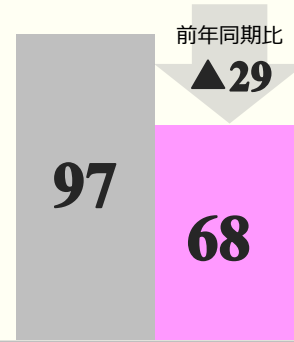
※詳細はP6~P7へ

営業利益

Operating Profit

■ 2017 3Q (IFRS)

■ 2018 3Q (IFRS)



※詳細はP8~P9へ

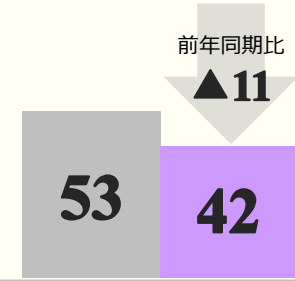
- 国内酒類事業の新ジャンルでの苦戦や、高価格帯市場の停滞などにより、▲29億円の減益
- 西日本の豪雨や北海道の震災など、天候不順・自然災害による販売機会の逸失や物流費の高騰、外食業態の客数減、一部設備の修繕などが業績の下方圧力に

親会社の所有者に帰属する 当期純利益

Profit attributable to owners of parent

■ 2017 3Q (IFRS)

■ 2018 3Q (IFRS)



- 営業利益の減少に伴い、▲11億円の減益

- 国内の酒類、飲料の売上減が大きく、前年同期比で▲97億円の減収

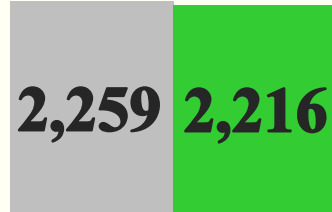
(単位：億円)



金融負債残高

Balance of Net debt

■ 2017 3Q (IFRS)
■ 2018 3Q (IFRS)



D/Eレシオ

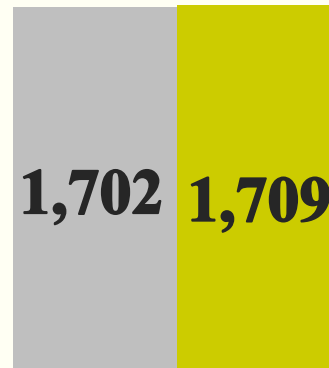
D/E ratio

1.3倍

資本

Equity

■ 2017 3Q (IFRS)
■ 2018 3Q (IFRS)



※BSの詳細は
P16～P17へ

投資額 (支払ベース)

Cash basis investment

2018年計画

358

240

※詳細はP15へ

グループ経営基盤の変革

Transformation of the Group management platform



➤ 世界初！ビールの「泡の色」を測定

- ～「新鮮なビールの泡はより白く美しい」～
- ～「クリスタル麦芽は泡の色を鮮やかにする」～

➤ 第1回「がんアライ宣言・アワード」で「ゴールド」受賞

- ～がんに罹患しても働きやすい制度と対話で、会社の強さにつなげる～

※詳細はP18～P19へ

グループトピックス

Group Topics

- 「FTSE4Good Index Series」および「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定
- 東北6県におけるビールパレット共同回収の先行展開開始
～ビール4社合計で、年間のCO2排出量が約735 t（従来比で約56%）削減
- 第10回恵比寿麦酒祭り開催
～ビール売上金相当額を被災地へ寄付
昨年までの寄付金累計額は約1億2000万円に～

セグメント別 売上収益 Revenue by Segment

2018
3Q



	① : 2017 3Q (日本基準)	② : 2017 3Q (IFRS)	増減 <会計基準差異> (②-①)	③ : 2018 3Q (IFRS)	前年同期比 (③-②)	〃 (率) (③-②)
連結売上収益	4,008	3,907	▲101	3,810	▲97	▲2.5%
国内酒類事業 (※)	2,014	1,877	▲138 <small>(リベート売上控除▲139)</small>	1,798	▲78	▲4.2%
国際事業 (※)	493	578	85 <small>(酒税総額表示+85)</small>	591	12	2.1%
食品・飲料事業	1,015	972	▲43 <small>(リベート売上控除▲37)</small>	942	▲30	▲3.1%
外食事業	221	218	▲3 <small>(リベート売上控除▲3)</small>	209	▲9	▲4.0%
不動産事業	180	178	▲2	183	5	3.0%
その他	85	85	0	87	2	2.8%

※ : 2018年から「サッポロインターナショナル(株)」の輸出事業を「サッポロビール(株)」に移管。
これに伴い、2017年度は遡及適用後の金額となっている。

次ページで要因解説

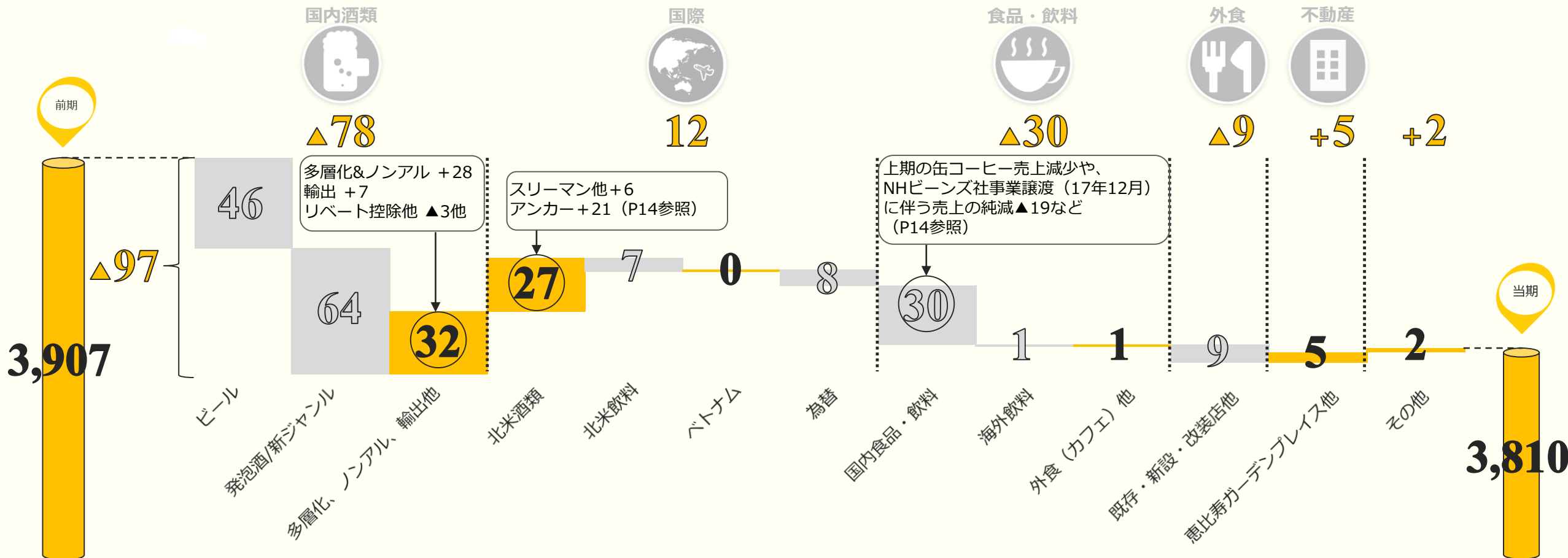
売上収益 増減の主要要因 Main Factors Contributing to Changes in Revenue

2018
3Q



：高価格帯ビールと新ジャンルの減収が主要因

■ = 増加
■ = 減少



※：2018年から「サッポロインターナショナル(株)」の輸出事業を「サッポロビール(株)」に移管

セグメント別 IFRS営業利益 Operating Profit by Segment

2018
3Q



	① : 2017 3Q (日本基準)	② : 2017 3Q (IFRS)	増減 <会計基準差異> (②-①)	③ : 2018 3Q (IFRS)	前年同期比 (③-②)
連結営業利益	107	97	▲10 <small>(退職給付費用▲10他)</small>	68	▲29
国内酒類事業 (※)	62	48	▲15 <small>(減価償却費▲9、退職給付費用▲5他)</small>	18	▲30
国際事業 (※)	▲1	11	12 <small>(のれん非償却+12他)</small>	4	▲6
食品・飲料事業	▲2	14	16 <small>(のれん非償却+16他)</small>	13	▲1
外食事業	3	1	▲1 <small>(減価償却費▲1)</small>	▲1	▲3
不動産事業	88	75	▲14 <small>(固定資産税▲5、減価償却費▲3他)</small>	82	7
その他	▲1	▲2	▲1 <small>(表示組替▲1)</small>	▲1	1
全社	▲41	▲48	▲7 <small>(退職給付費用▲5、表示組替▲2)</small>	▲46	2

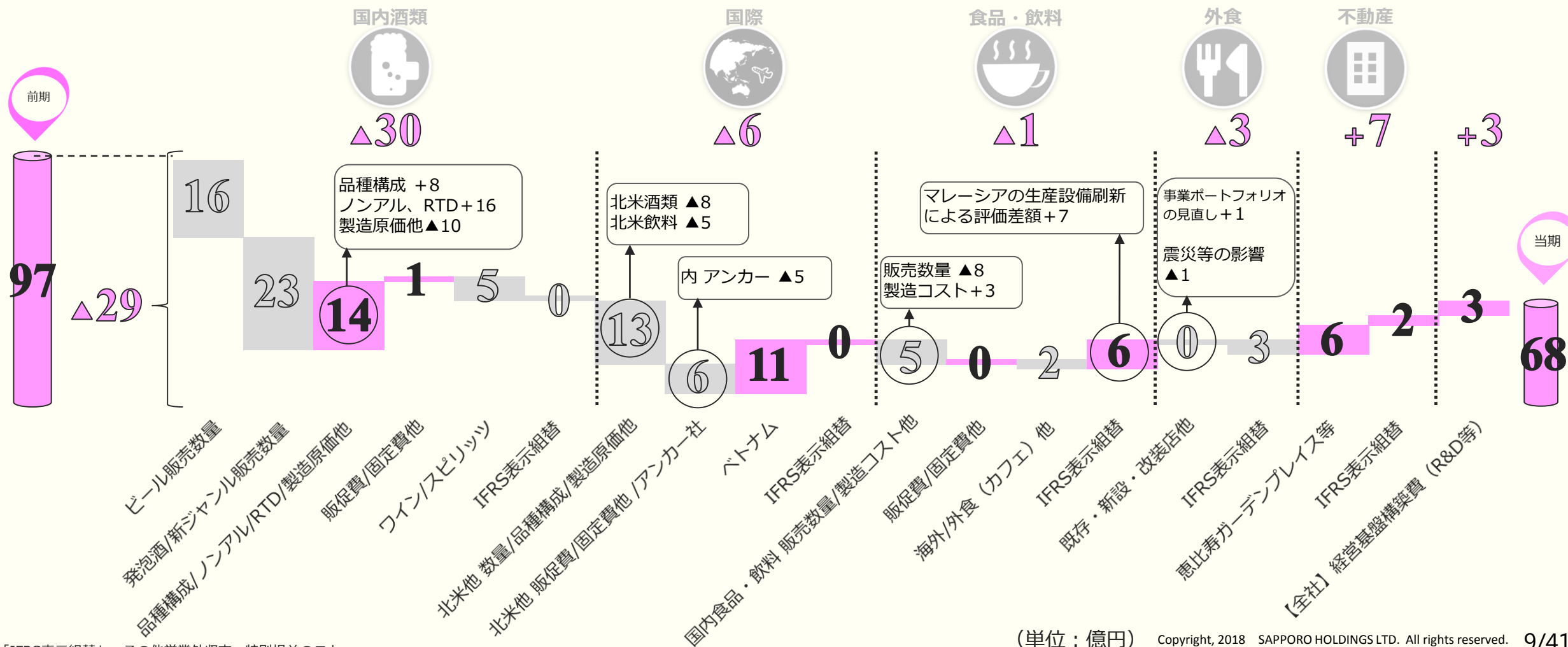
※ : 2018年から「サッポロインターナショナル(株)」の輸出事業を「サッポロビール(株)」に移管。
これに伴い、2017年度は遡及適用後の金額となっている。

🔍 次ページで要因解説



ベトナム大幅増益、不動産事業は引き続き好調
国内酒類はRTDが牽引するも、ビール類の売上減少により減益

■ = 増加
 ■ = 減少



※「IFRS表示組替」：その他営業外収支・特別損益のこと。



※前年同期比はIFRSベースの比較

Positive

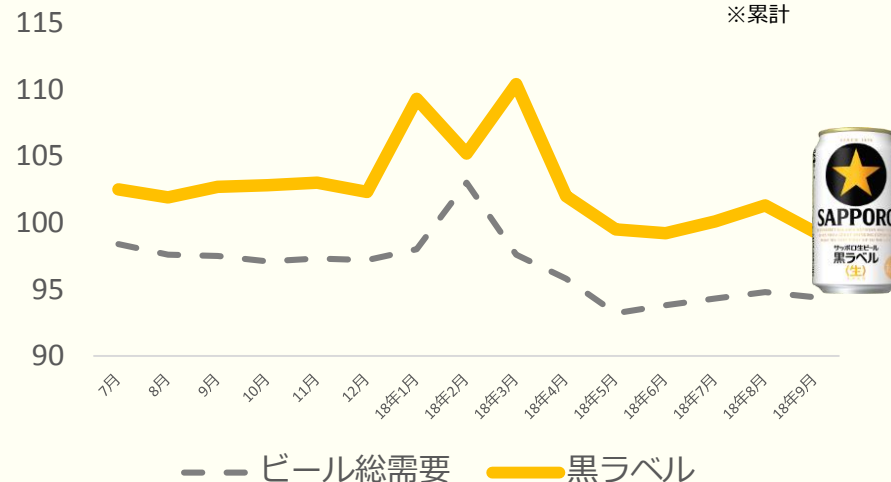
➤ 黒ラベルブランド缶は前年同期比**106%**
ビールの総需要を上回り、手堅く成長を続ける

➤ RTDは前年同期比**151%**
「99.99（フォーナイン）」が牽引



※黒ラベルは売上数量、RTDは売上金額ベース

＜黒ラベルブランド 売上数量 前年同期比 推移＞

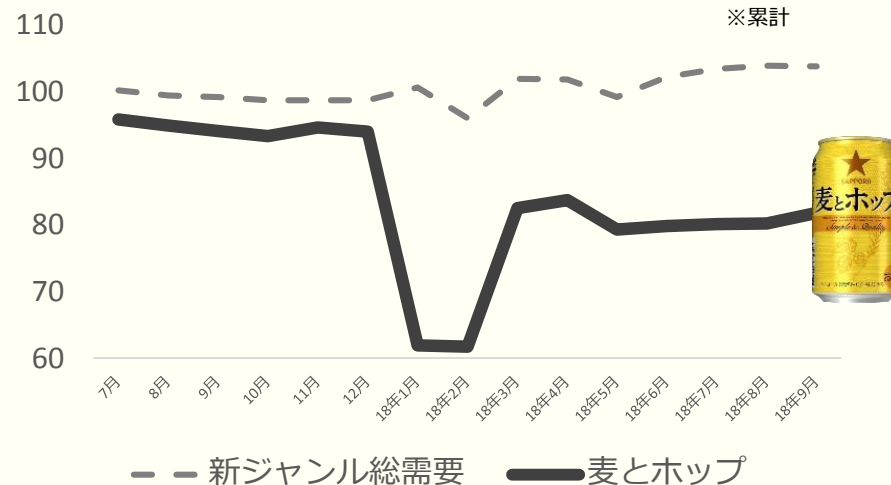


Negative

➤ 新ジャンルの売上数量は前年同期比**87%**

➤ 高価格帯のビール市場は需要停滞が続いている

＜麦とホップブランド 売上数量 前年同期比 推移＞



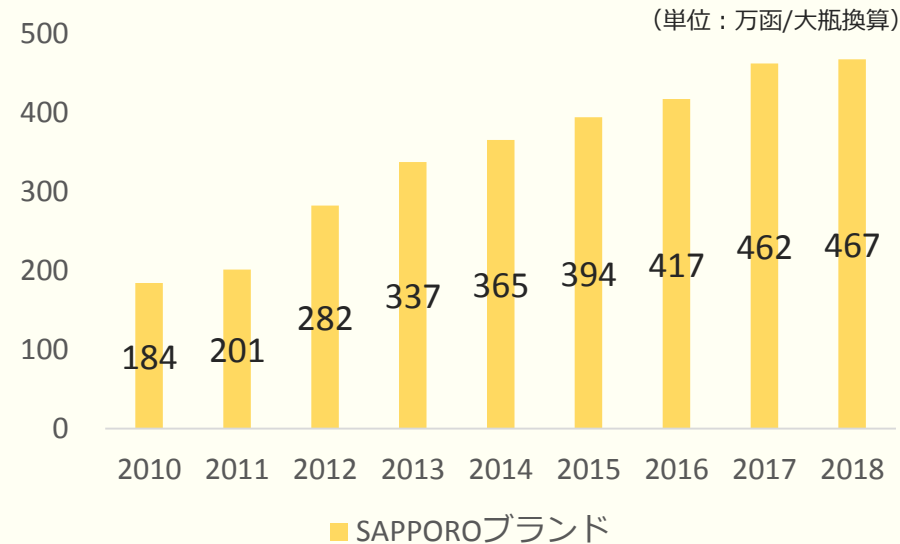


※前年同期比はIFRSベースの比較

Positive

- スリーマン社は増収継続
- 海外でのサッポロブランド拡大
カナダでは二けた成長
- ベトナムは**11**億円の収益改善、第3Qも黒字着地

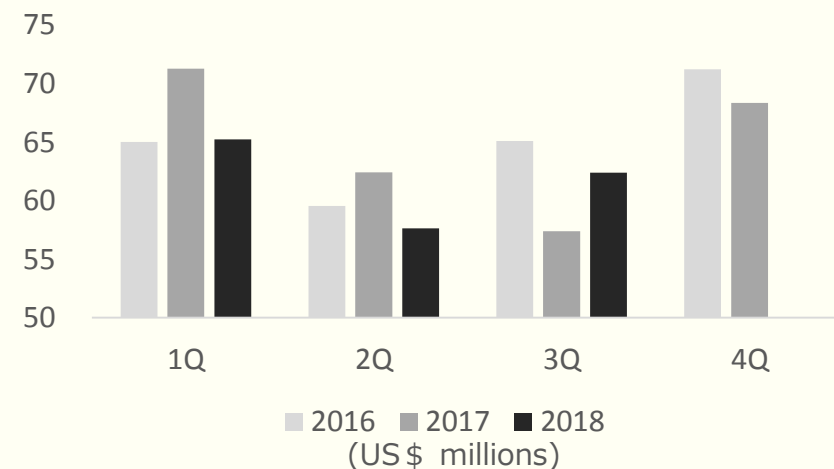
＜海外ビール売上数量の推移（各年1-9月累計）＞



Negative

- 北米飲料の改善効果は第4Qに顕在化
- アンカー社は来年以降に向けた下地作りを進めているが、足元は市場停滞の影響で苦戦
サンフランシスコに集中してブランド強化を図る
- 米国において物流コストが上昇

＜北米飲料：現地通貨建て売上収益の推移＞





食品・飲料事業

Food & Soft Drinks

売上収益 Revenue **942** 前年同期比 YoY Change ▲**30**

IFRS 営業利益 Operating profit

13 前年同期比 YoY Change ▲**1**

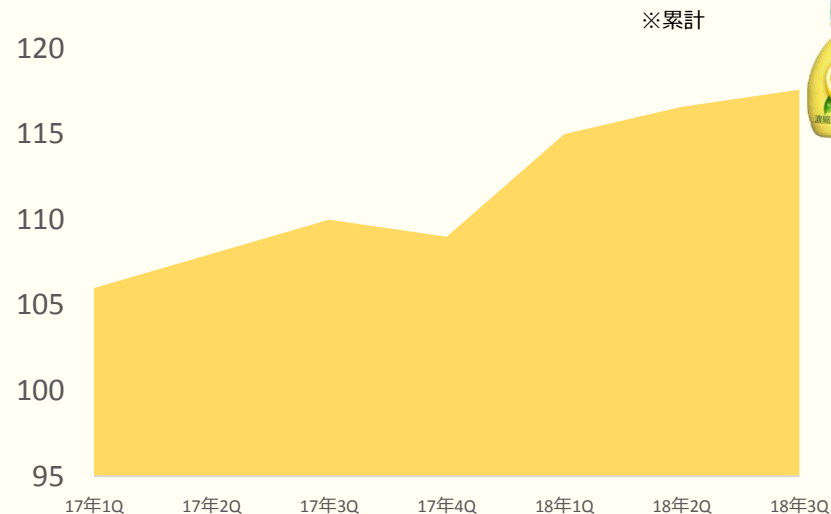
2018 3Q

※前年同期比はIFRSベースの比較

Positive

- レモン食品の売上数量は前年同期比**118%**
- 育成中の大豆・チルド製品は前年同期比**109%**
 明年3月の稼働に向け、豆乳ヨーグルトの製造設備設置を進める
- シンガポール国内は高シェアを維持し、
 売上も好調に推移

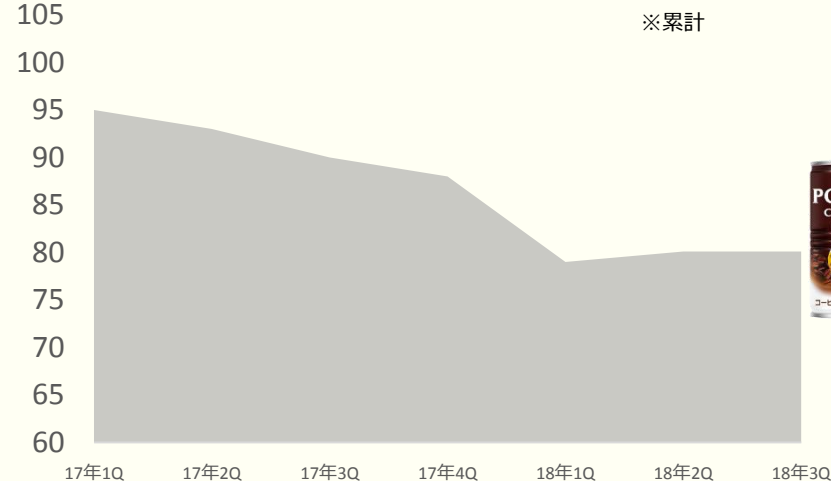
＜レモン食品 売上数量 前年同期比 推移＞



Negative

- コーヒー飲料の落ち込みは下げ止まるも、
 販売数量は前年同期比で約2割減
 →「北欧コーヒーブラック」の発売等でテコ入れ
- 中東の物品税による売上減少
 →現地の味覚にあった商品開発を進めている

＜コーヒー飲料 売上数量 前年同期比 推移＞





外食事業

Restaurants

売上収益 **209** 前年同期比 **▲9**

IFRS 営業利益 **▲1** 前年同期比 **▲3**

Positive

➤ 「エビスバー」業態好調



➤ シンガポールにおける和食レストラン等の事業を、現地の飲食企業に譲渡
→ビヤホール業態に集中

Negative

➤ 既存店売上は前年同期比**97%**



不動産事業

Real Estate

売上収益 **183** 前年同期比 **+5**

IFRS 営業利益 **82** 前年同期比 **+7**

Positive

➤ 主力物件は全て安定した稼働率を維持

➤ 中期経営計画に則り、保有物件の戦略的な組み替えを実施
恵比寿のまちづくりを推進する

※新宿区他の2物件を72.5億円で譲渡
渋谷区の賃貸等不動産3物件を64億円で取得

Negative

➤ 特筆すべき点なし



➤ 為替による営業利益への影響は軽微

＜決算特殊要因（前年同期比）＞

事業セグメント	内容	売上収益影響
国際事業	ANCHOR BREWING COMPANY, LLC 2017年10月連結開始	約+21億円
食品・飲料事業	NHビーンズ（株）※旧 日本ビーンズ（株） 2017年12月事業譲渡	約▲19億円

＜為替の影響（為替換算による影響）＞

	2017 3Q	2018 3Q
US \$	¥111.89	¥109.61
EUR	¥124.58	¥130.87
CAN \$	¥85.66	¥85.11
SG\$	¥80.53	¥81.78



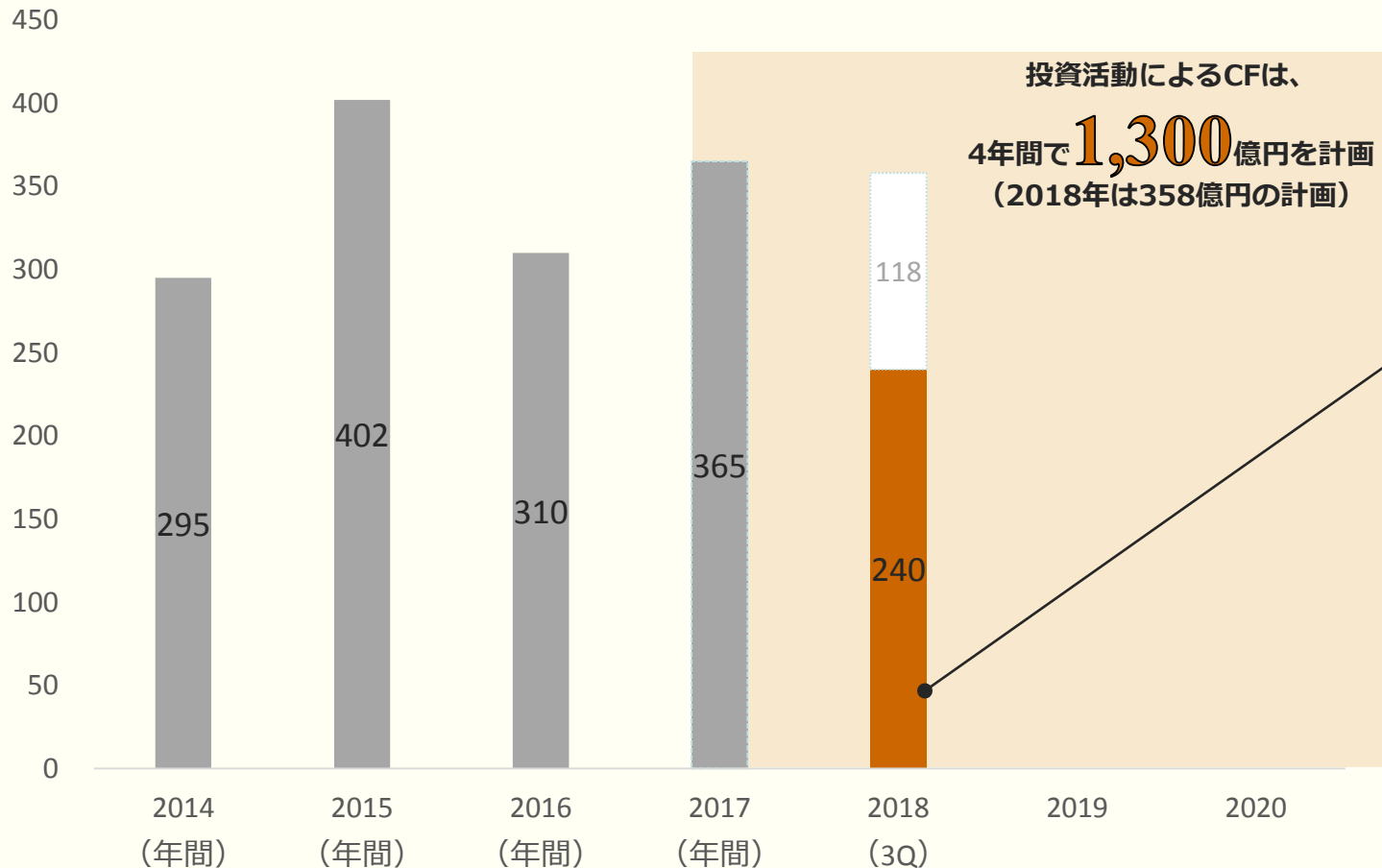
	売上収益影響
国内酒類事業	-
国際事業	約▲8億円
食品・飲料事業	-

- : 影響軽微



➤ 支払ベースの投資額は240億円

＜投資金額 推移（支払ベース）＞



① <設備投資> 連結合計で約**132**億円
(有形固定資産・無形固定資産)

<主な内訳>

- ・『酒』『食』『飲』関連：約110億円
ミニブルワリー関連工事、ろ過機の導入工事他：約42億円
スリーマン社設備投資他：約12億円
豆乳関連工事：約23億円 等

- ・SGM社 グループインフラ最適化等：約18億円
※SGM社:サッポログループマネジメント株式会社

② <投資不動産> 連結合計で約**31**億円

③ <リース料> 連結合計で約**32**億円
※飲食店舗の家賃にかかるリース料除く

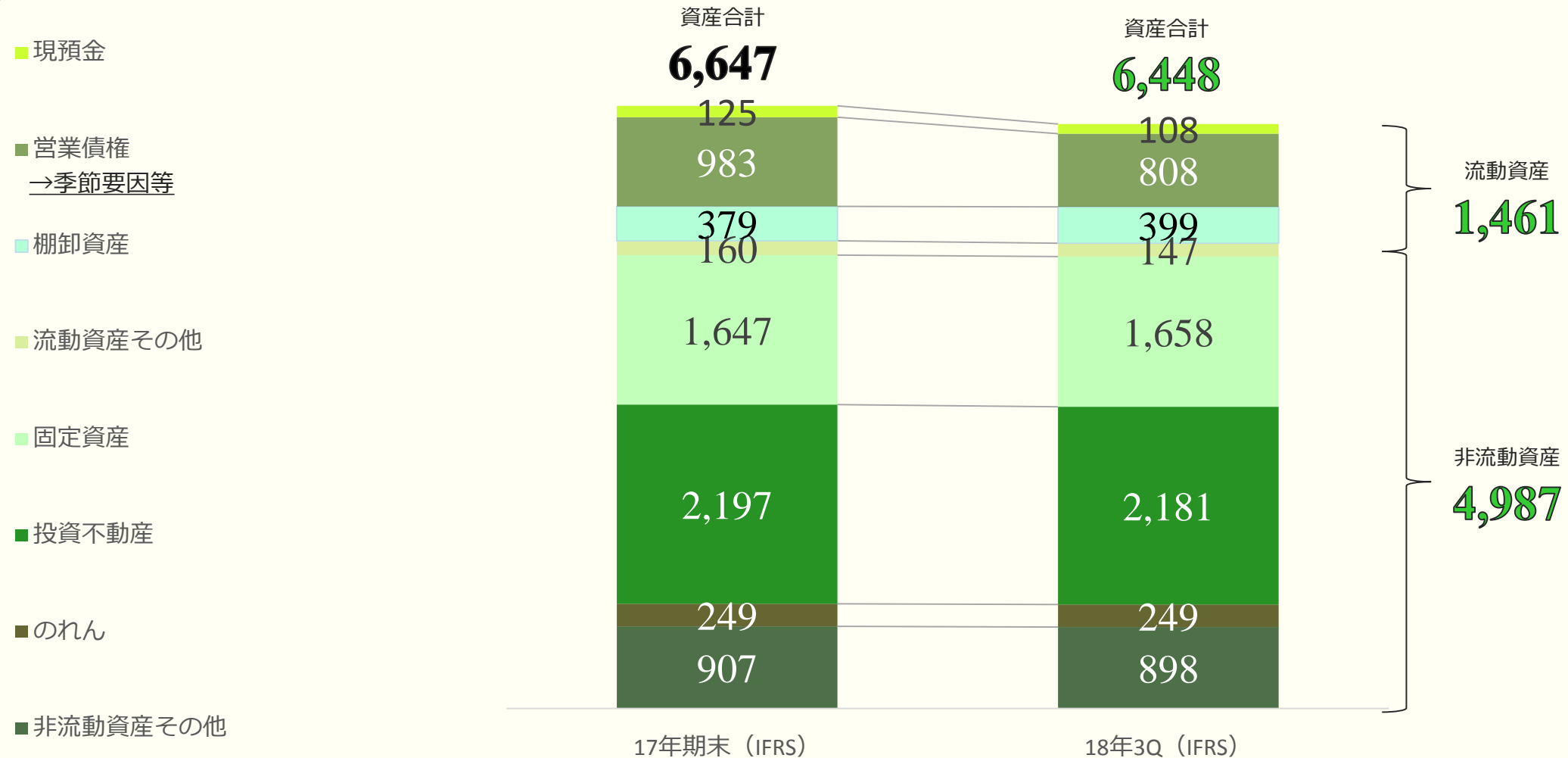
④ <その他投資> 連結合計で約**45**億円
(長期前払費用・投資有価証券 等)

① + ② + ③ + ④ <2018年3Q 投資実績 合計>
(支払ベース/経常設備投資・リース料含む)

約**240**億円



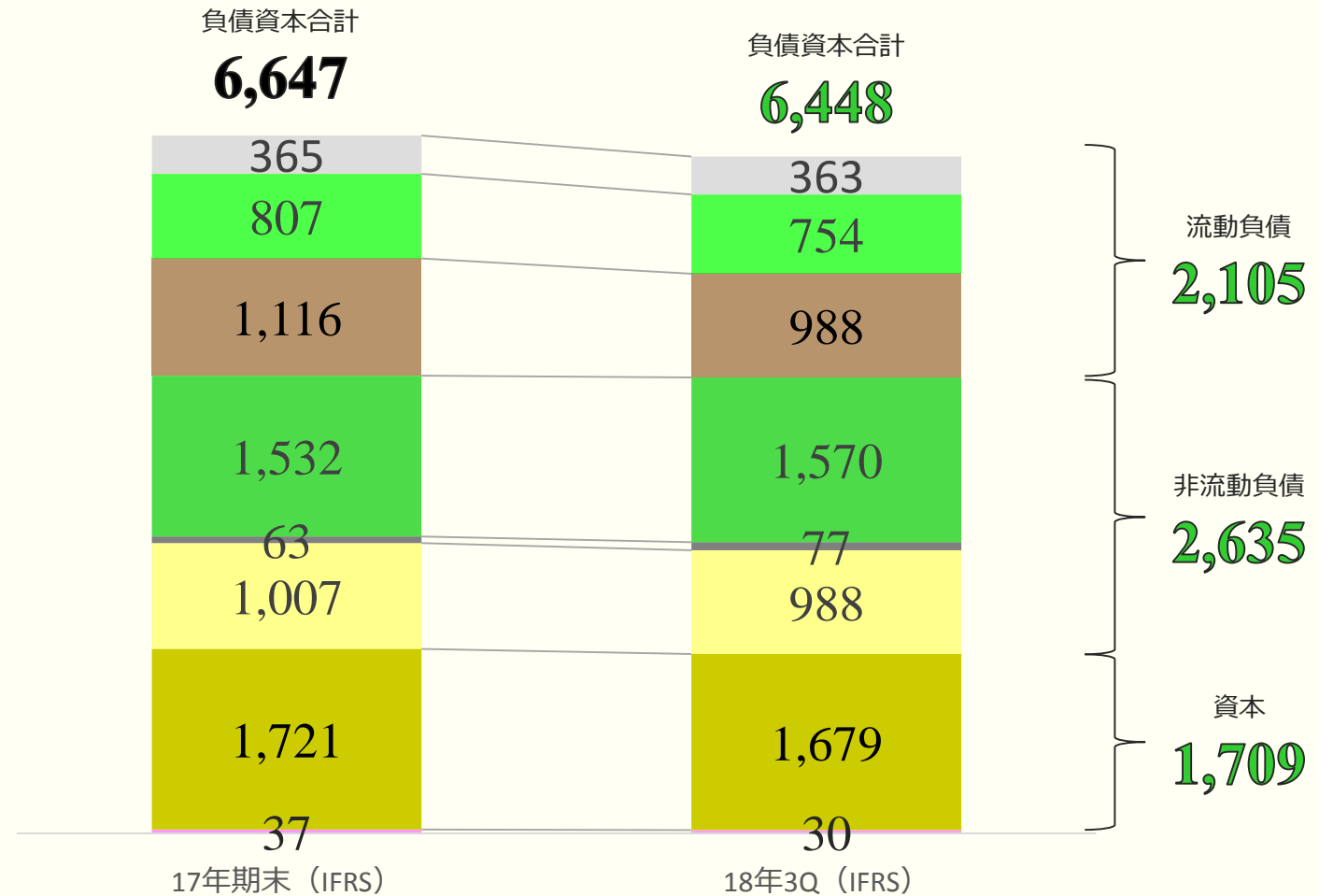
：資産合計は前期末対比で199億円の減少





: 負債合計は前期末対比で151億円の減少、資本合計は48億円の減少

- 営業債務
- 短期金融負債
- 流動負債その他
→未払酒税・未払法人税等の減少
- 長期金融負債
→社債の発行
- 退職給付に係る負債
- 非流動負債その他
- 親会社所有持分
→四半期純利益、配当金の支払
- 非支配持分





R&D



世界初！ビールの「泡の色」を測定

～「新鮮なビールの泡はより白く美しい」「クリスタル麦芽は泡の色を鮮やかにする」～

サッポロビール(株)は、ビールの「泡の色」を測定する方法を世界で初めて開発し（注1）、鮮度が良いビールの泡がより白いこと、ビール醸造に用いる麦芽の種類により泡の色調が変化することを発見しました。今後この技術を、より白く美しい泡を実現するための品質管理や、泡の色調にまでこだわった新商品の開発に応用していきます。

http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000022014/index.html

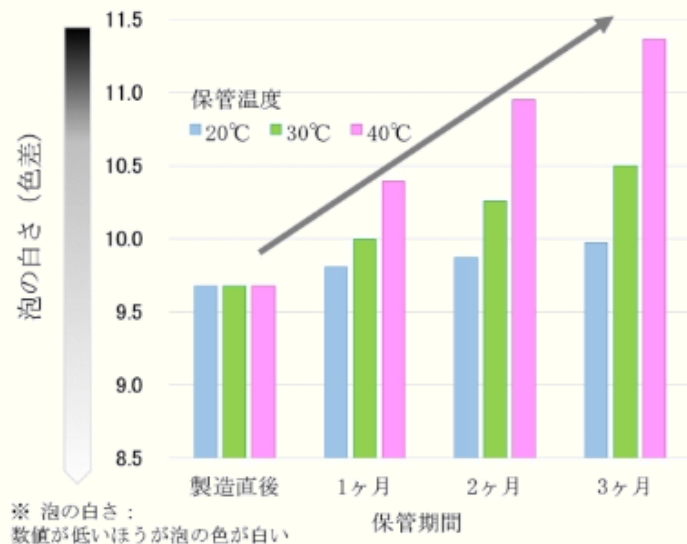


図1. 淡色ビールを保存した時の泡の白さの変化

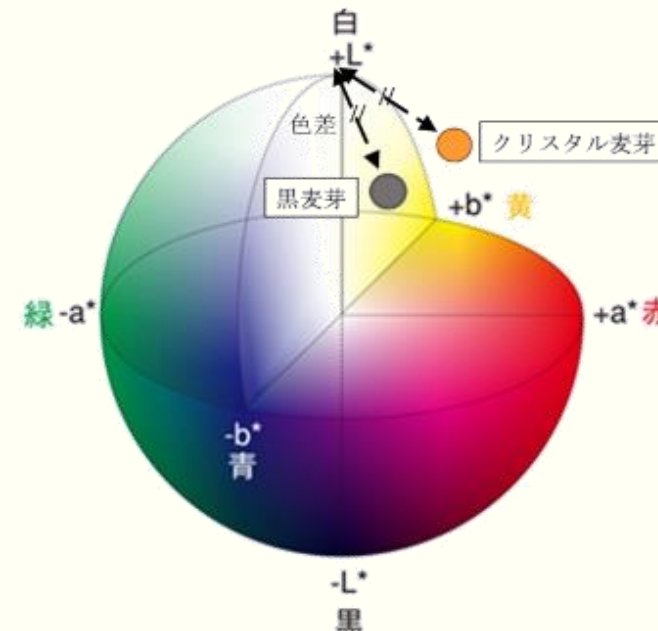


図2. クリスタル麦芽と黒麦芽を用いたビールの泡の色調 (L*a*b*色空間色度図)



第1回「がんアライ宣言・アワード」で「ゴールド」受賞

～がんに罹患しても働きやすい制度と対話で、会社の強さにつなげる～

サッポロビール（株）は、「がんと就労」問題に取り組む民間プロジェクト「がんアライ部」主催の、第1回「がんアライ宣言・アワード」において、「ゴールド」を受賞しました。がんに罹患しても、働き続けられる社会であることを望み、がんを経験した社員の思いを大切に、働きやすい制度と対話により、会社の強さにつなげていきます。

http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000022032/index.html

<★当社の受賞ポイント>

- ・がんに罹患した社員、その上司向けに「治療と就労の両立支援マニュアル」を作成し、治療と就労の両立にあたり必要な情報をすぐに得られるよう、体制を整備している。
- ・「時間有休制度」、「スーパーフレックス」「テレワーク」を導入し、柔軟な勤務を可能にすることで、治療を続けながら就労継続できる体制を整えている。
- ・生活習慣病健診（健康保険組合が実施する健康診断、がん検診相当の項目含む）について、会社からも費用を一部補助し、就業時間中に受診可能な制度としている。
- ・全国事業場に産業医・保健師を配置しており、健康面での相談がしやすい体制を整えている。
- ・自分の健康や家族事情を含めて、キャリアのことを社内の相談員にいつでも相談できる制度がある。



Appendix

参考資料

Appendix

国内酒類 (単位：万函/大瓶換算)	17年3Q	18年3Q	前年同期比
①ビール計	-	-	96%
サッポロ生ビール黒ラベル	-	-	99%
エビス計	-	-	87%
②発泡酒計	-	-	78%
③新ジャンル計	-	-	87%
ビール・発泡酒・新ジャンル計 (①+②+③)	-	-	92%
ビールテイストノンアルコール飲料	54	72	133%

国内酒類 (単位：億円)	17年3Q	18年3Q	前年同期比
ワイン計	90	85	95%
国産ワイン	35	33	93%
輸入ワイン	54	52	96%
スピリッツ計 (RTD・洋酒・焼酎)	226	253	112%
小計	317	339	107%
リベート等控除	▲49	▲56	-
合計	268	283	106%

海外ビール (単位：万函/大瓶換算)	17年3Q	18年3Q	前年同期比
海外ブランド (※1)	965	1,039	108%
サッポロブランド	462	467	101%

(単位：万函)

飲料水 (ポッカサッポロフード&ビバレッジ)	17年3Q	18年3Q	前年同期比
飲料水 (※2)	3,393	3,281	97%

(単位：億円)

売上金額 (酒税込み)	17年3Q	18年3Q	増減
ビール	1,212	1,166	▲46
発泡酒	95	74	▲20
新ジャンル	349	304	▲44
小計	1,655	1,544	▲111
リベート等控除	▲90	▲86	5
合計	1,565	1,459	▲106

売上金額 (酒税抜き)	17年3Q	18年3Q	増減
ビール	601	578	▲23
発泡酒	53	41	▲11
新ジャンル	244	211	▲33
小計	898	830	▲68
リベート等控除	▲90	▲86	5
合計	808	745	▲63

※1：スリーマン社、アンカー社を含む

※2：国内売上のみ。(豆乳除く)

参考資料

Appendix



【ビール】 (売上数量)

- ✓ 前年同期比**96%** (総需要94%)
- ✓ 「黒ラベル」 : ブランド計 前年同期比**99%**
(缶 : ブランド計 前年同期比**106%**)
- ✓ 「アビス」 : ブランド計 前年同期比**87%**

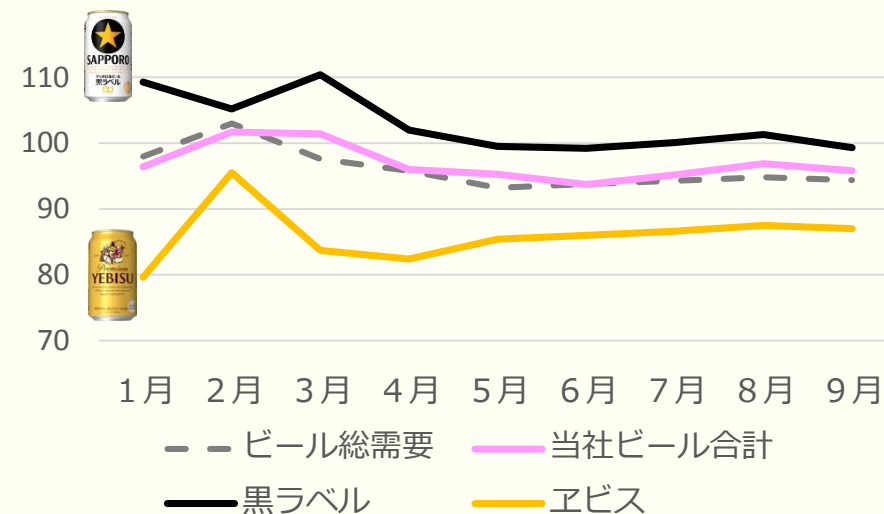
【発泡酒・新ジャンル】 (売上数量)

- ✓ 前年同期比**85%** (総需要100%)
- ✓ 「麦とホップ」 : ブランド計 前年同期比**82%**
- ✓ 「極ゼロ」 : ブランド計 前年同期比**74%**

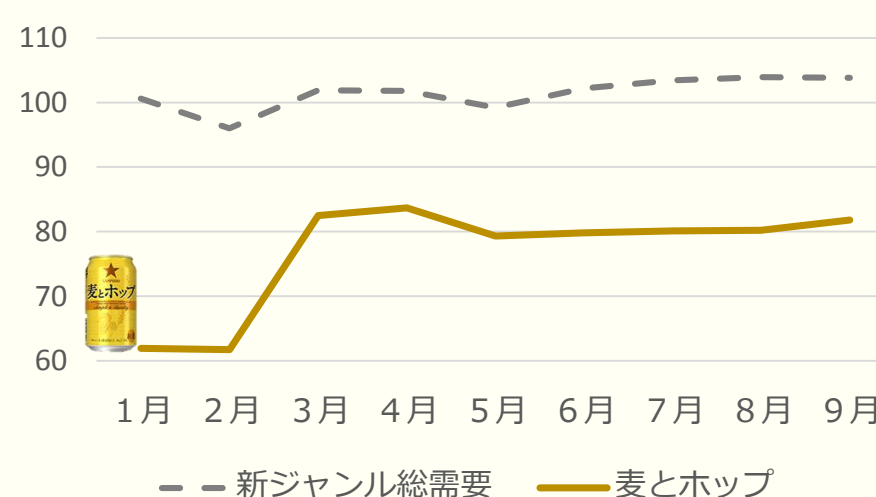
【ワイン・スピリッツ等】 (売上金額)

- ✓ ワイン事業 : 前年同期比**95%**
- ✓ RTD事業 : 前年同期比**151%**
- ✓ 洋酒事業 : 前年同期比**110%**
- ✓ 和酒事業 : 前年同期比**95%**

＜黒ラベル・アビス 売上数量 前年同期比 推移＞



＜麦とホップ 売上数量 前年同期比 推移＞



(1~9月累計)

Copyright, 2018 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved.

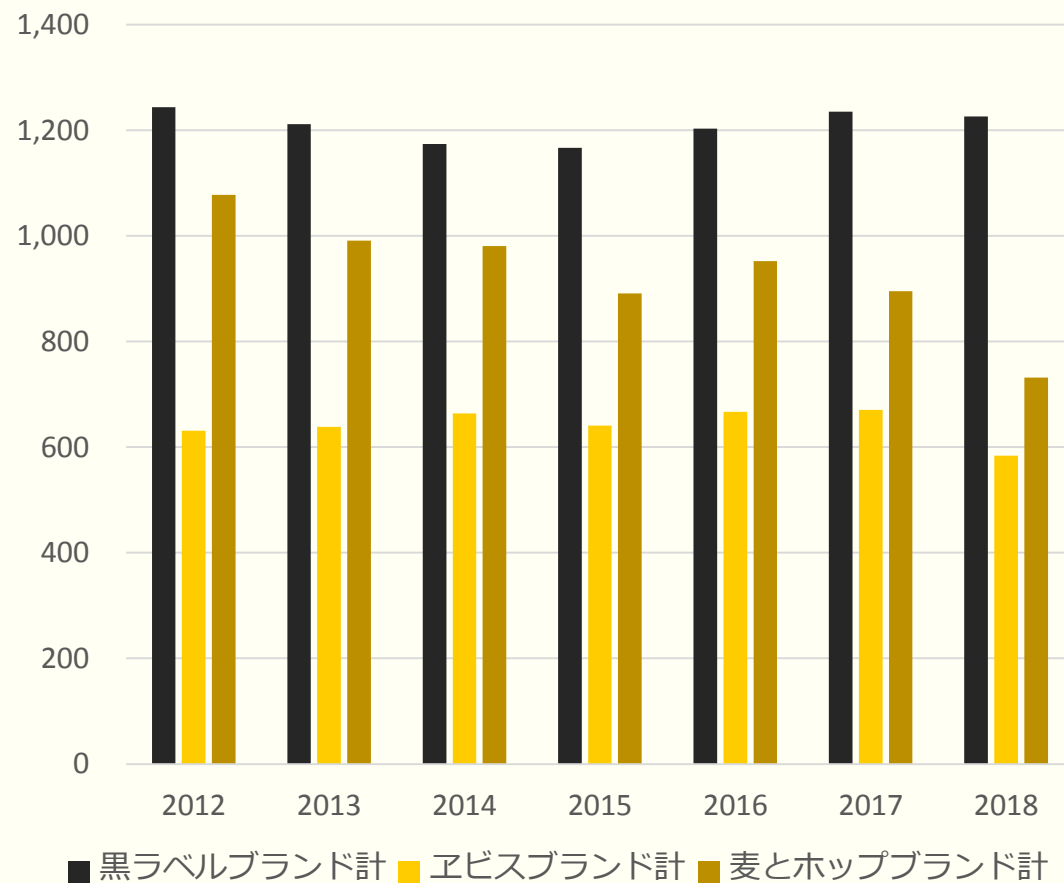
22/41

参考資料

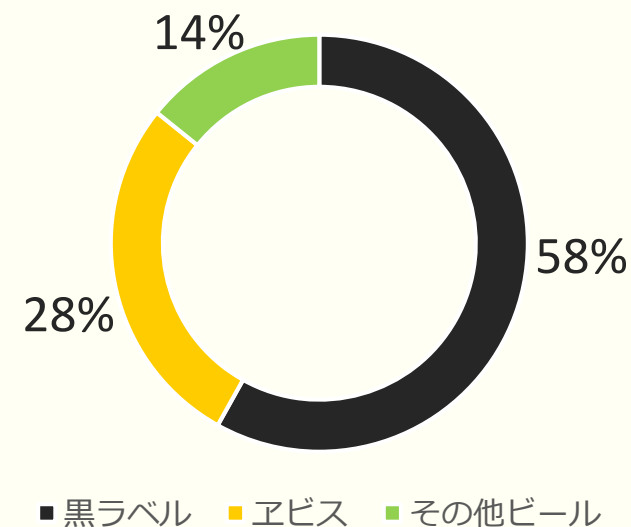
Appendix



<基幹3ブランド 売上数量（販売数量）推移>



<ビールカテゴリーラインナップ 構成比>



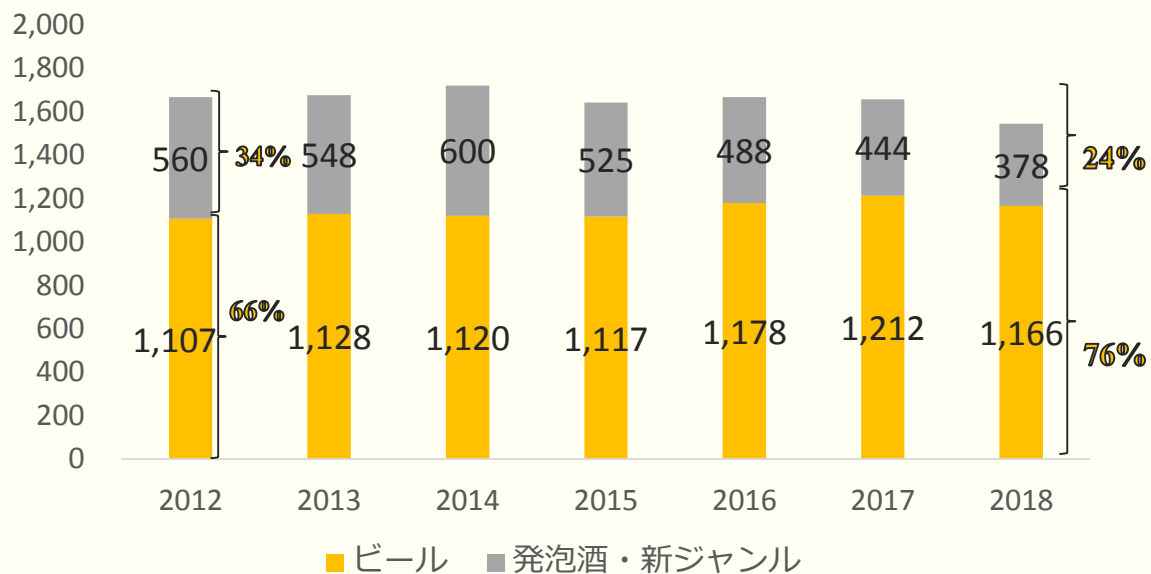
参考資料

Appendix

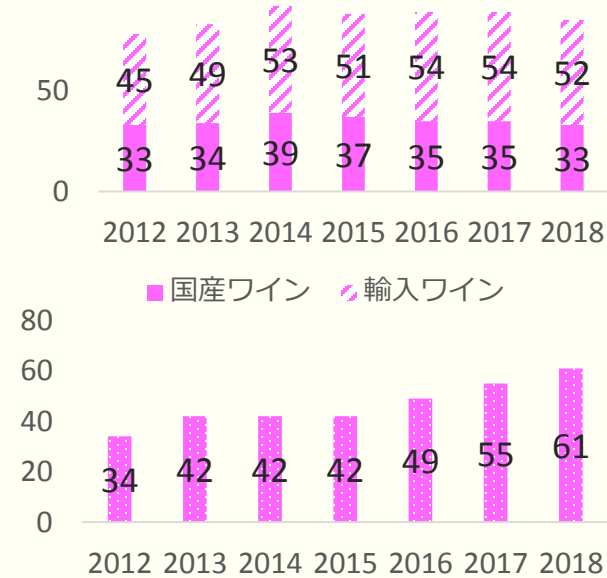


※酒税込

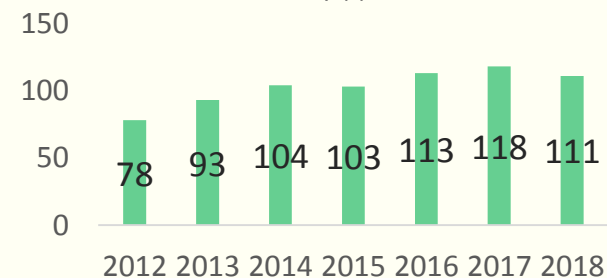
<国内酒類事業 カテゴリ別 売上金額 推移>



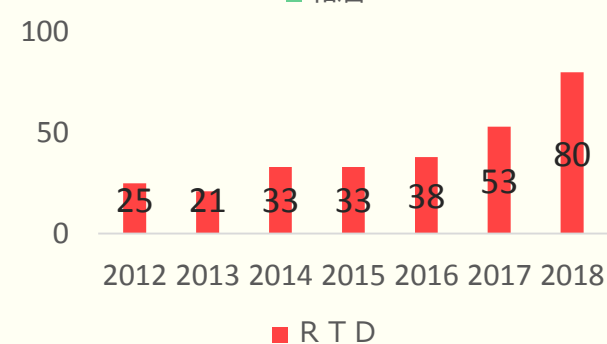
100



150

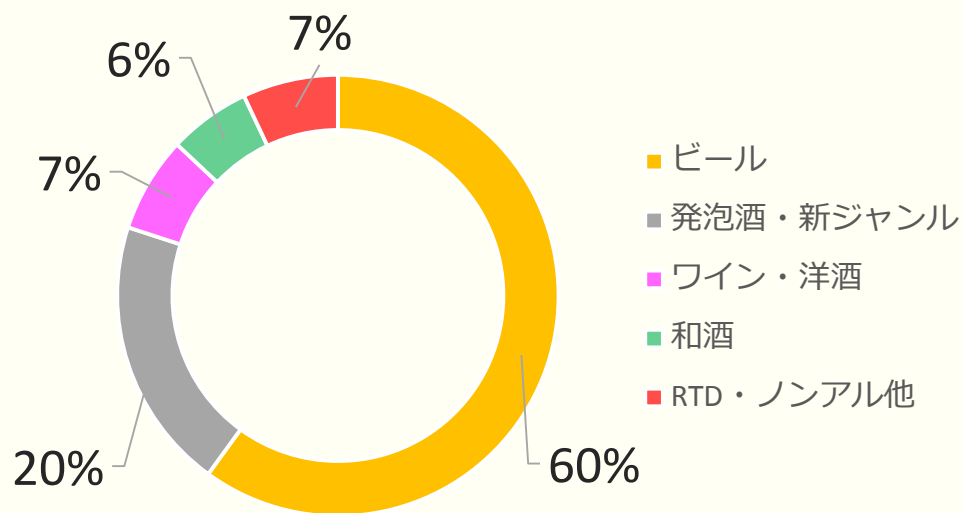


100



<国内酒類事業 カテゴリ別 売上金額構成比>

※子会社売上や連結消去、リベート控除を除く



※いずれもリベート等控除前の金額 (1~9月累計) (単位: 億円)



琥珀エビス



サッポロラガービール



黒ラベル<黒>



北海道生ビール



焙煎生ビール



蔵出し生ビール



Innovative Brewer
グルメビア



麦とホップ 東北の香り



麦とホップ 薫る富良野



富良野の薫り



(限定ラベル) サッポロ麦とホップ



参考資料

Appendix



(限定ラベル) ハロウィンデザイン



(限定ラベル) サッポロ生ビール黒ラベル





サッポロチューハイ99.99
(フォーナイン)



左: シトロンソーワ (※R)
右: ナポリンソーワ



男梅ソーワシリーズ 左: 男梅ソーワ (※R)
中央: 超男梅ソーワ (※R)
右: 辛口男梅ソーワ



男梅ソーワ
ハロウィンデザイン

参考資料

Appendix



りらくす
さっぱりグレープフルーツ
ビネガー



もももネクターソーワ
黄金桃と白桃



ウメカク
ソーダ仕立ての梅酒カクテル
シャインマスカット



塩ライチソーワ



ウメカク 果実仕立ての
梅酒カクテル ゆず



クエン酸とレモン
ポリフェノール入り白梅酒



愛のスコールシリーズ
左: ブルーソーダソーワ
右: 赤りんごソーワ



左: リモンチェロイタリアンレモンソーワ
右: アランチェロイタリアンブラッドオレンジソーワ

<2018年7月~9月 主な発売商品 (ワイン) >

※R:リニューアル

参考資料

Appendix



ビオ マニア<オーガニック>シリーズ
左:チリ カベルネ・ソーヴィニオン
右:チリ シャルドネ



グランポレール 安曇野池田ヴィンヤードシリーズ (左から)
①シャルドネ2016
②ピノ・ノワール2015
③メリタージュ2015
④カベルネ・ソーヴィニオン2015



ポリフェノールでおいしさアップ
の濃い赤ワイン



ワインラ・キュー・ミティーク<赤>
ハロウィンデザイン



ペンフォールズ「グランジ&サン・ルイ・リミテッド エ디션」



デュワーズ ホワイトラベル
200ml



【イエローテイル】 バブルス・ドライ



ペンフォールズ「g 3 (ジー・スリー)」

Japan Wine Competition (日本ワインコンクール) 2018で「グランポレール山梨甲州樽発酵2017」が 史上初の3年連続金賞・部門最高賞受賞

参考資料

Appendix



7月に山梨県で開催された「Japan Wine Competition (日本ワインコンクール) 2018」において、「グランポレール山梨甲州樽発酵2017」で金賞・部門最高賞を受賞しました。

本商品は、日本を代表する品種の1つである甲州部門で、過去2年連続して金賞・部門最高賞を受賞しており、今回史上初の3年連続受賞の栄誉に輝きました。さらに銀賞4品、銅賞9品も受賞となりました。

「グランポレール山梨甲州樽発酵2017」は、甲州市勝沼町の栽培農家のぶどうを100%使用し、収穫された甲州ぶどうの中から、糖度・味わいに優れた熟度の高いぶどうだけを選んで仕込んでいます。やや緑がかった淡い黄色で、柑橘を想わせる華やかなアロマと樽発酵による柔らかな樽香が調和した、しっかりした酸味と、辛口ながら後口に果実由来の甘さを感じさせるワインです。

当社はワイン事業のフラッグシップブランドである「グランポレール」を、今後もう一段上のステージに高め、日本はもとより世界に通用するワインづくりに取り組んでいきます

http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000021984/index.html

参考資料

Appendix



【海外ブランド】（スリーマン社、アンカー社を含む）

✓ 前年同期比**108%**

【サッポロブランド】（国内酒類事業の輸出分を含む）

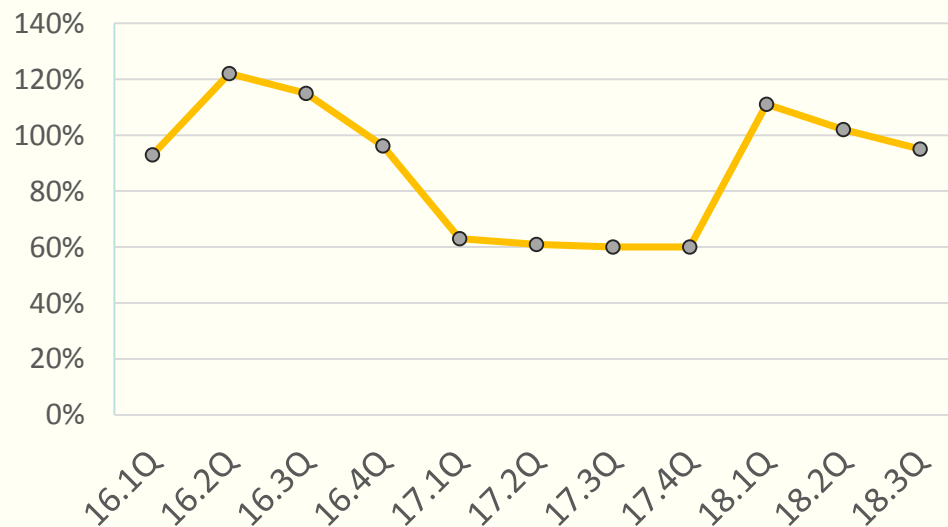
✓ 前年同期比**101%**

【ベトナム】（国内売上数量）

✓ 前年同期比**96%**



＜ベトナム国内 売上数量 前年同期比の推移＞

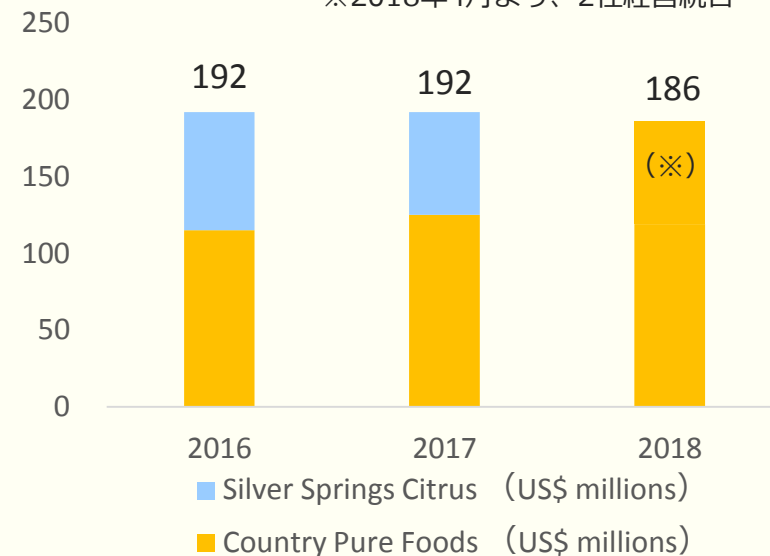


【米国飲料】（売上金額・連結消去後）

✓ 前年同期比**97%**

＜米国飲料 現地通貨建て売上金額（連結消去前）＞

※2018年4月より、2社経営統合

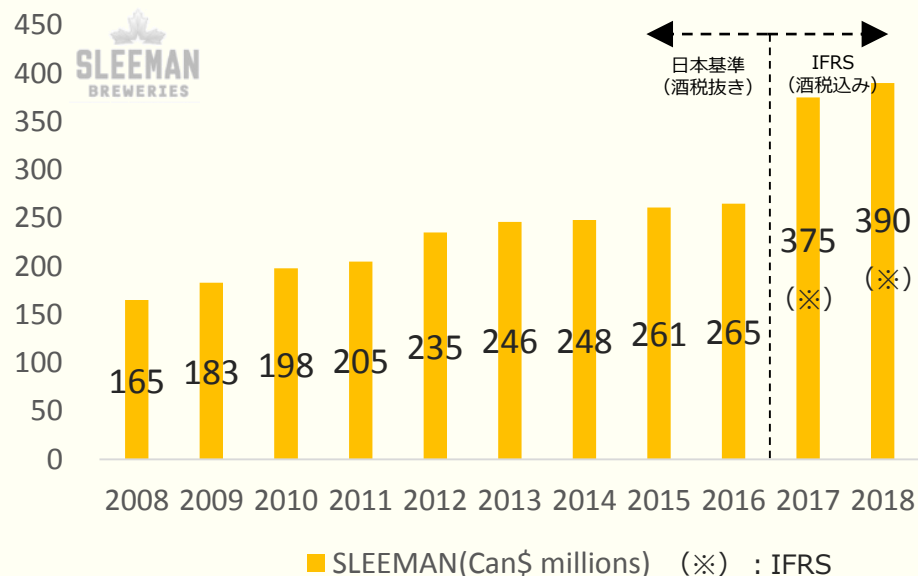


参考資料

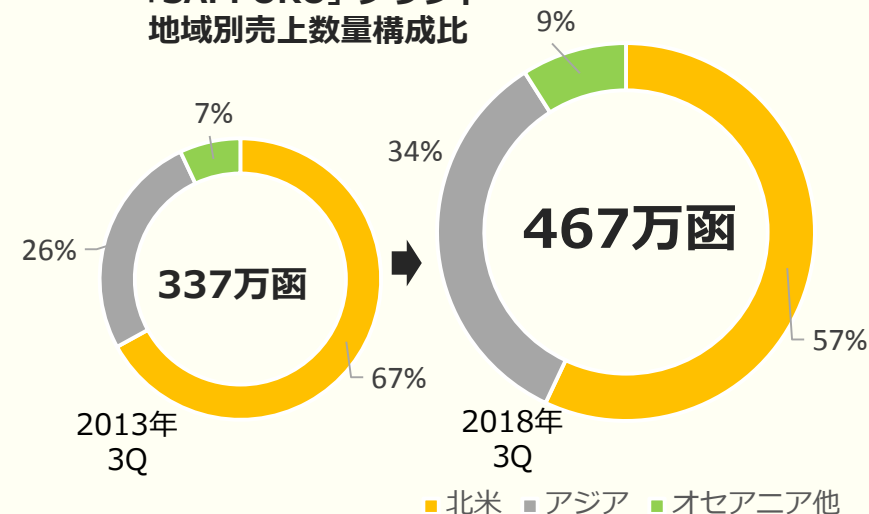
Appendix



<スリーマン社：現地通貨建て売上金額（連結消去前）の推移>

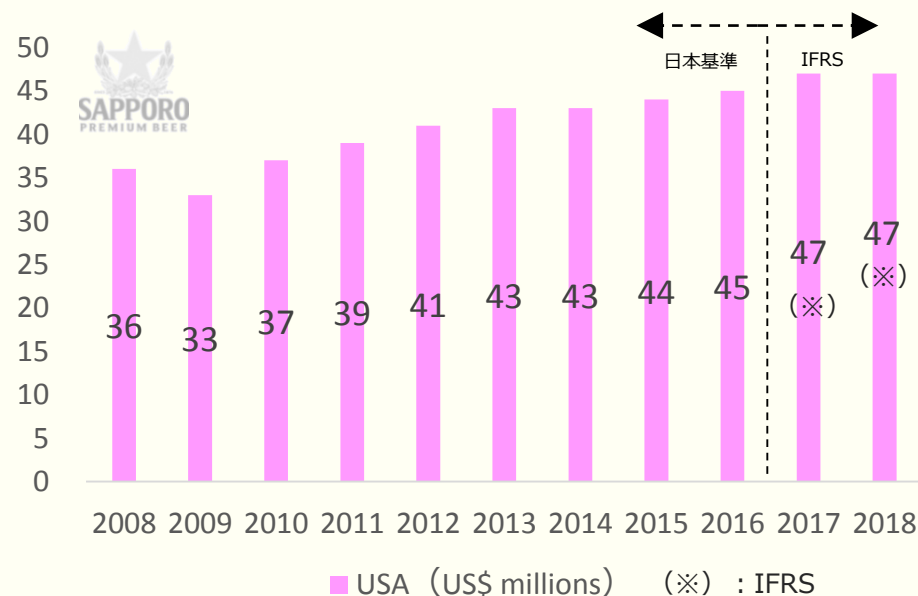


「SAPPORO」ブランド 地域別売上数量構成比

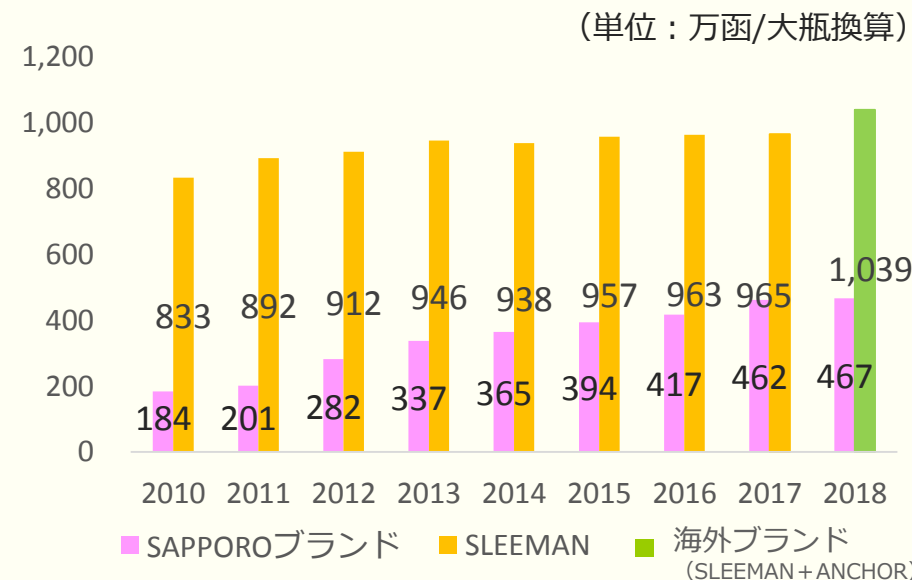


北米：カナダ、アメリカ
アジア：ベトナム、シンガポール、韓国他
オセアニア他：オーストラリア、欧州他

<サッポロUSA社：現地通貨建て売上金額(連結消去前)の推移>



<海外ビール売上数量の推移>



(1~9月累計)

Copyright, 2018 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved.

参考資料

Appendix



【レモン飲料】 (売上数量)

✓ 前年同期比**107%**



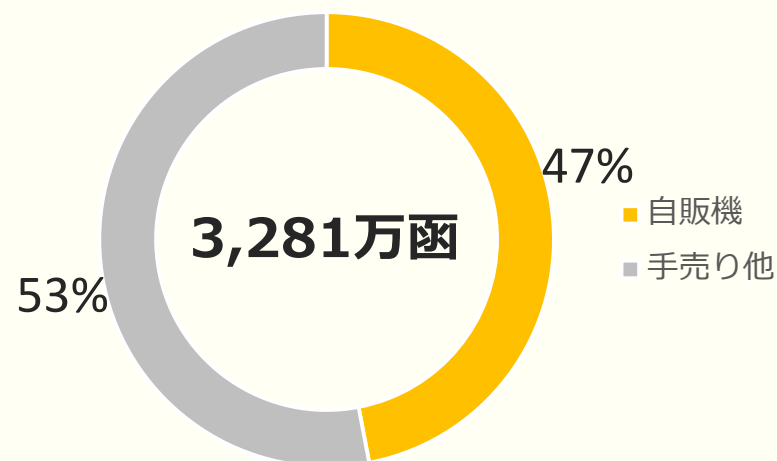
【茶系飲料】 (売上数量)

✓ 前年同期比**101%**

【コーヒー飲料】 (売上数量)

✓ 前年同期比**80%**

＜国内食品飲料事業：ポッカサッポロフード&ビバレッジ＞
国内飲料チャンネル別販売数量 構成比



※自販機 (9月末)
自社ブランド約82千台+白ベンコラム

【レモン食品】 (売上数量)

✓ 前年同期比**118%**

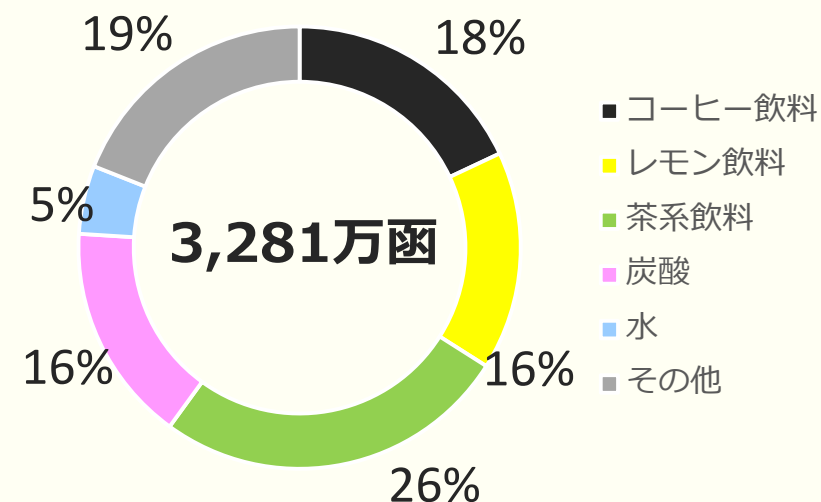
【スープ類】 (売上数量)

✓ 前年同期比**92%**

【大豆チルド】 (売上数量)

✓ 前年同期比**109%**

＜国内食品飲料事業：ポッカサッポロフード&ビバレッジ＞
国内飲料ジャンル別販売数量 構成比



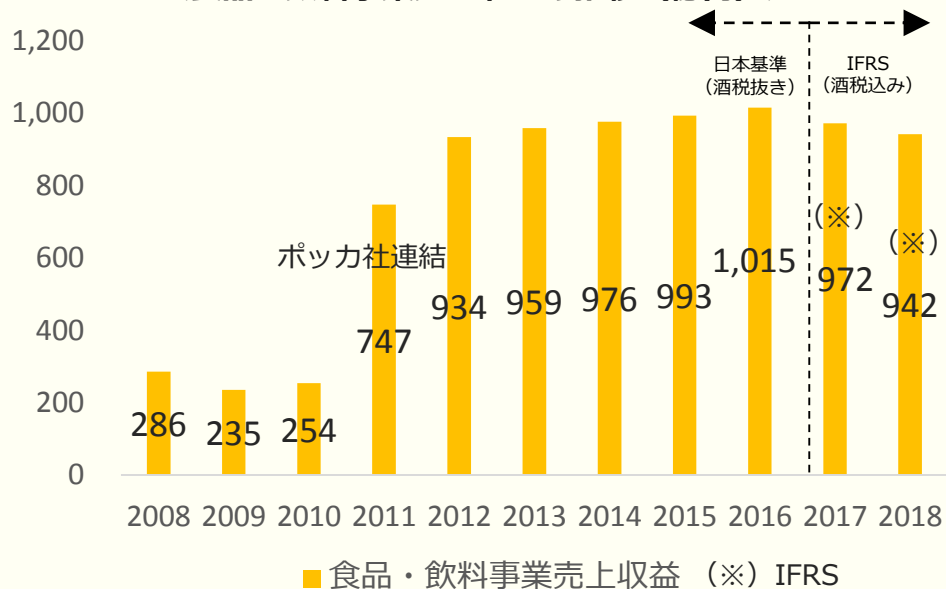
(1~9月累計)

参考資料

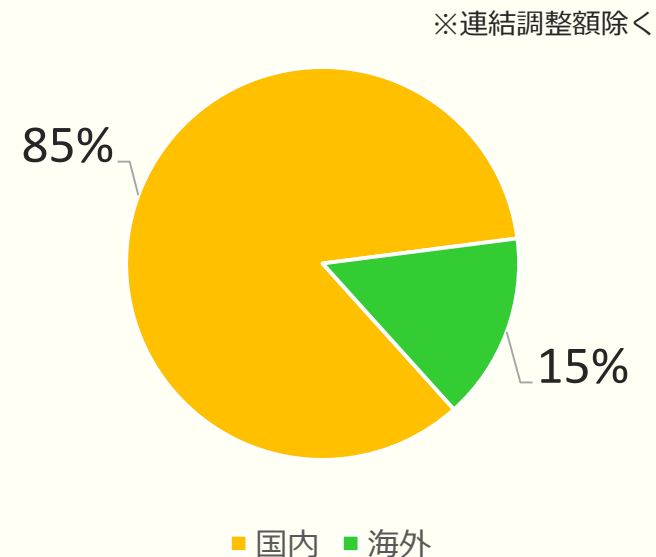
Appendix



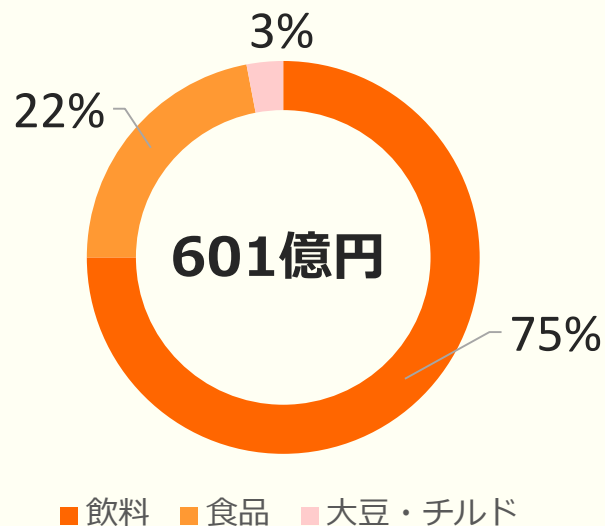
<食品・飲料事業売上収益の推移（億円）>



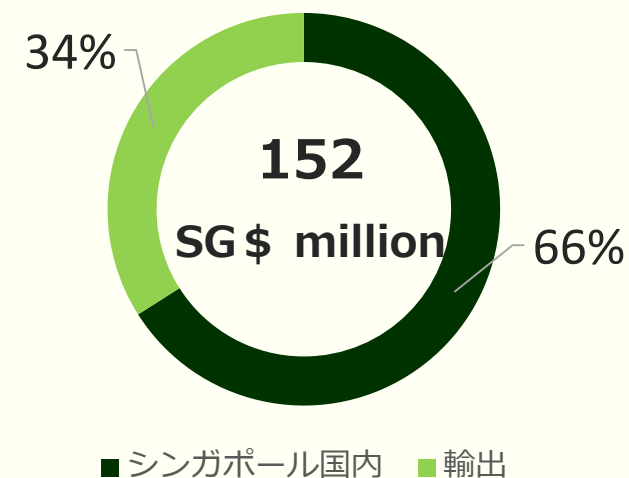
<食品・飲料事業売上収益の構成比>



<国内：ポッカサッポロフード&ビバレッジ>
売上金額構成比



<海外：ポッカコーポレーション・シンガポール>
売上金額構成比（POKKAブランド）



(1~9月累計)

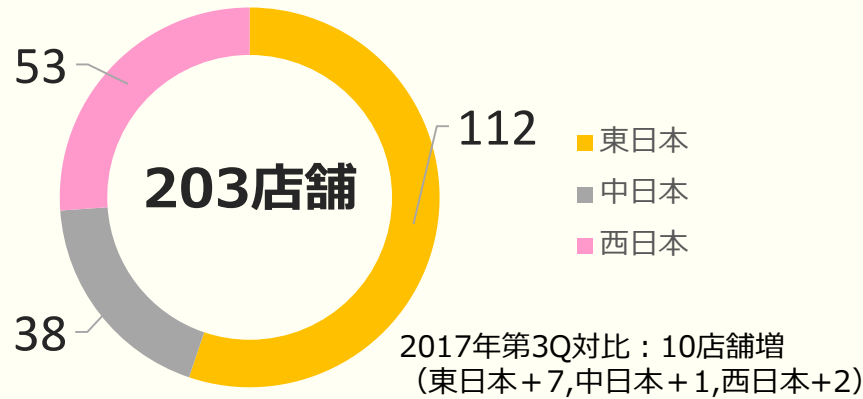
【(株)ポッカクリエイト】

✓ 売上収益**65**億円 前年同期比**100**%

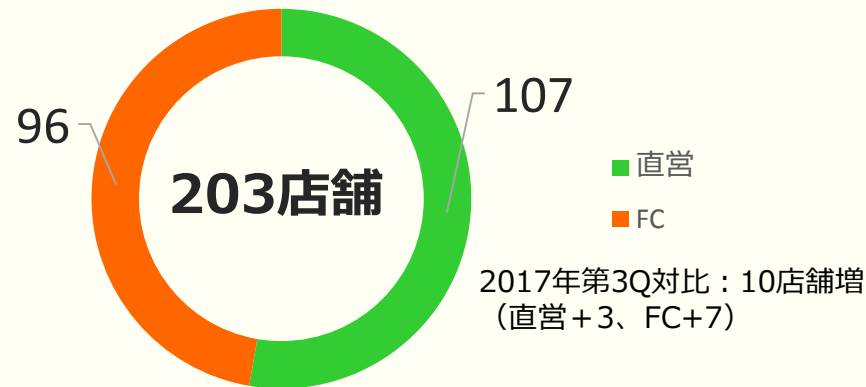


<新店舗&リニューアル店舗>

<9月末 地域別店舗数>



<9月末 直営/FC店舗数>



参考資料

Appendix





北海道クリーム仕立て
左: 贅沢チョコレートドリンク
右: 贅沢ミルクセーキ



JELEETSプリンシェイク



カフェ・ド・クリエ 北欧コーヒーブラック



しゃりしゃり贅沢梨

参考資料

Appendix



キレートレモンカルシウム



知覧にっぽん紅茶



加賀棒ほうじ茶ラテ(※R)



富良野ラベンダーティーRelax



宮古島ハイビスカスティー

<2018年7月~9月 主な発売商品>



じっくりコトコト
濃厚デミグラススープ



じっくりコトコト
左：フレンチチキソクリーム
右：牡蠣の濃厚クリーム



リゾランテ 濃厚明太子リゾット

参考資料

Appendix



じっくりコトコト
左：こんがりパン
カルボナーラ風ポターージュ
右：サクサクパイ
きのこグラタン風ポターージュ



じっくりコトコト こんがりパン
左：PREMIUM 和牛のこく旨ビーフシチュー風
右：雲丹の濃厚クリーミーポターージュ



素材屋すうば キャベツスープ



じっくりコトコト ご褒美ダイニング濃厚コーン、濃厚かぼちゃ、濃厚きのこ



辛王 極辛火鍋風スープ

【ポッカレモンの接点拡大活動】

レモンサワーグランプリ2018 in 関東



ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社は、株式会社ぐるなびと協働し、2018年6月18日(月)から7月18日(水)まで開催した「レモンサワーグランプリ2018 in 関東」において、参加した飲食店様よりエントリーされたオリジナルレモンサワーメニュー121件の中から、一般のお客様からの投票、外部審査員と当社による総合審査を経て、関東No.1レモンサワーを決定しました。

https://www.pokkasapporo-fb.jp/company/news/release/180618_01.html

※メニュー名/店名:https://www.pokkasapporo-fb.jp/company/news/release/180821_01.html



(左から) グランプリ、準グランプリ、鶏肉ベストマッチ賞、2018トレンド賞



参考資料

Appendix



「Lemon healthy stand」を 東京・恵比寿と名古屋にて夏季期間限定で出店



「Lemon healthy stand」は、レモンのおいしさが体感いただけるヘルシーなドリンクを提供します。また、すべてのメニューにレモンを使い、「濃さが選べるレモネード」や「フローズンレモネード」等、ポッカサッポロならではの、レモンのおいしさにこだわったメニューをご用意します。また、追加のレモントッピングやフローズンタイプなどフォトジェニックなドリンクをお楽しみいただけます。

https://www.pokkasapporo-fb.jp/company/news/release/180712_01.html

<店舗外観とドリンクメニュー>イメージ

豆乳ヨーグルト製造ライン新設

ポッカサッポロフード&ビバレッジ（株）はレモン事業、スープ事業を強みに、飲料事業でのブランド展開を図りながら、新規の事業領域や商品領域の創出を進めています。2015年10月にはトーラク株式会社より豆乳飲料と豆乳ヨーグルト商品の営業権を譲受し、大豆・チルド事業を開始しました。

豆乳ヨーグルトは、旧来からトーラク社にて製造を行ってまいりましたが、市場の拡大を図るためには、自社で内製化することが必要と判断しました。新たに設置するラインは、従来の小型容器に加え、新たに大型容器の製造も可能となり、より一層お客様のニーズにあった豆乳ヨーグルト商品の展開を図っていくことが可能となります。

今後、自社工場において豆乳ヨーグルト商品を生産し、生活者に新たな価値を提案することで、大豆・チルド事業のさらなる成長を目指してまいります。

参考資料

Appendix



<設備の概要>

製造品目	豆乳ヨーグルト
ライン数	2ライン（大型容器 約400g、小型容器 約100g）
生産能力	380万ケース／年（小型容器1ケース12個入り換算） 340万ケース／年（大型容器1ケース6個入り換算）
投資金額	53億円
工場所在地	ポッカサッポロフード&ビバレッジ（株）群馬工場 群馬県伊勢崎市境東新井1301-1 境北部工業団地
竣工予定	2019年 3月竣工・稼動開始

https://www.pokkasapporo-fb.jp/company/news/release/180926_02.html



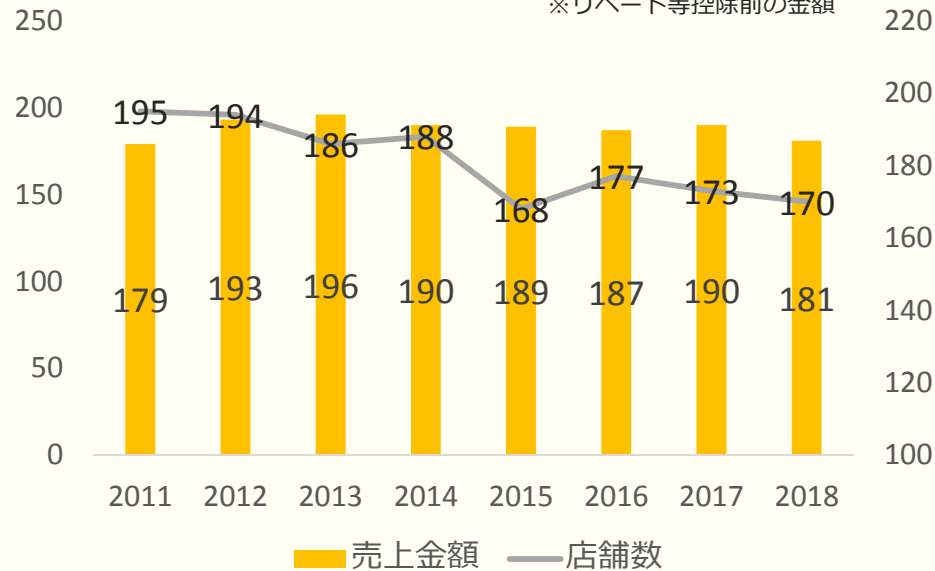
参考資料

Appendix

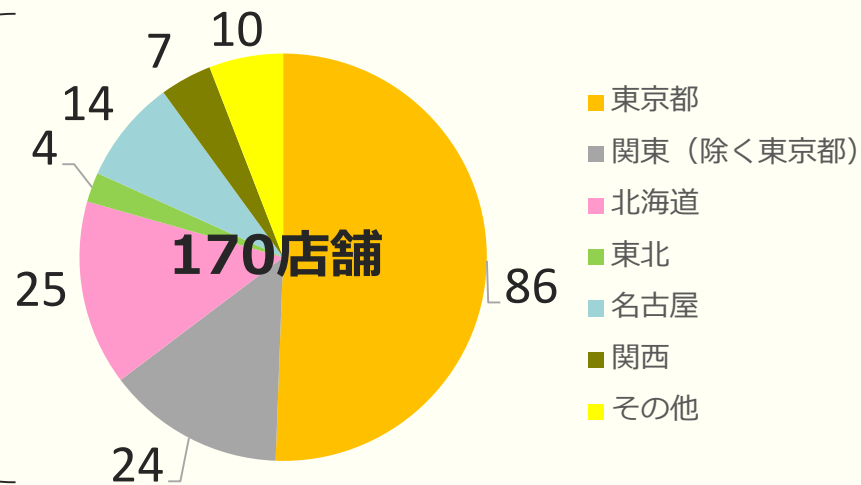


<サッポロライオン単体の店舗数と売上金額の推移>

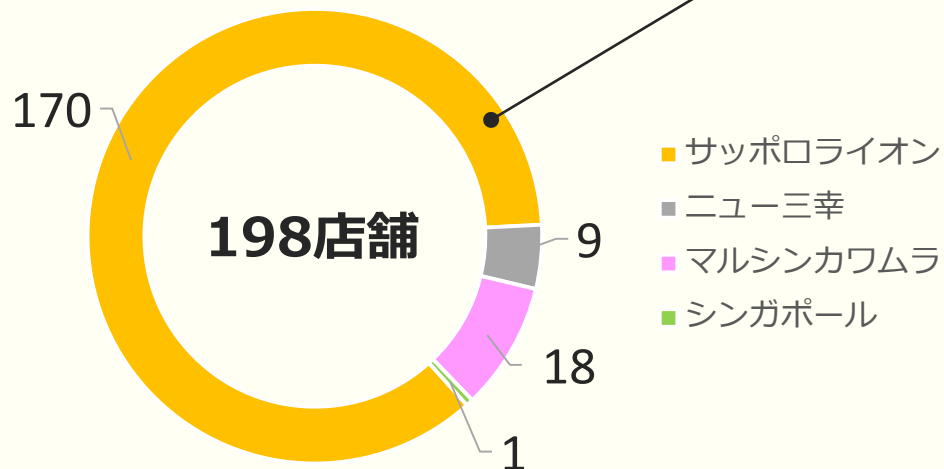
※リベート等控除前の金額



<サッポロライオン単体 店舗数地域別構成比>



<外食事業 店舗数構成比>



<主なブランド一覧>



参考資料

Appendix



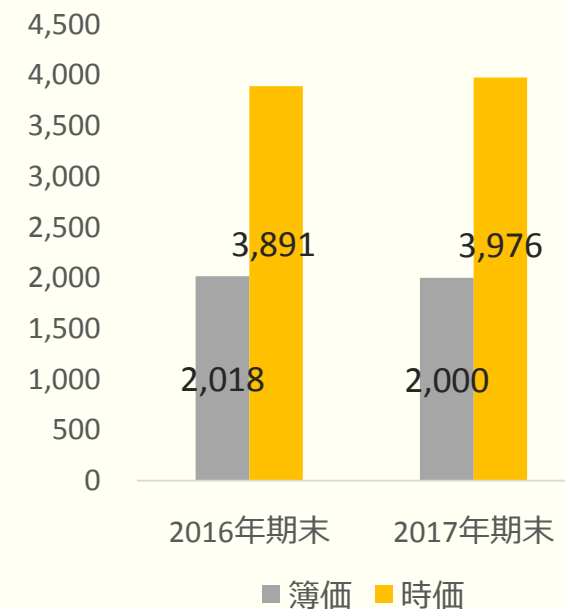
<主要物件概要・稼働率 : (1~9月平均・入居ベース) >

	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	平均 稼働率 (%)	階数
恵比寿ガーデンプレイス ⁽¹⁾	56,943	298,007	100	地下5階 地上40階建
恵比寿ファーストスクエア	2,596	16,012	100	地下1階 地上12階建
恵比寿スクエア	1,561	8,644	100	地下1階 地上7階建
銀座プレイス	645	7,350	100	地下2階 地上11階建
ストラータ銀座 ⁽²⁾	1,117	11,411	100	地下1階 地上13階建

(1) : 「階数」はオフィス棟部分のみ、「稼働率」はオフィス区画にて記載

(2) : 100%持分にて記載。当社持分は、土地922㎡(区分所有)、建物89.72%(共有持分)

<賃貸等不動産期末時価情報>



<営業利益の内訳>

	17年3Q	18年3Q	増減
恵比寿ガーデンプレイス関連	-	58	-
北海道事業	-	10	-
その他物件・事業	-	20	-
全社共通費用	-	▲7	-
合計	-	82	-

<EBITDAの内訳>

	17年3Q	18年3Q	増減
恵比寿ガーデンプレイス関連	-	82	-
北海道事業	-	9	-
その他物件・事業	-	37	-
全社共通費用	-	▲7	-
合計	-	121	-

※前年実績は日本基準のため、掲載省略

(単位：億円)

サッポログループの様々な取組み

- ✓ ESG投資の代表的指標「FTSE4Good Index Series」および「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定されました。
http://www.sapporoholdings.jp/news_release/0000020447/index.html
- ✓ 東北6県におけるビールパレット共同回収の先行展開開始について
http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000022035/index.html
- ✓ 「平成30年北海道胆振東部地震」に対する支援金寄付について
http://www.sapporoholdings.jp/news_release/0000020452/index.html
- ✓ 株主優待制度を通じた東北復興支援
～東北の復興を担う子どもたちへの教育支援に活用します～
http://www.sapporoholdings.jp/news_release/0000020443/index.html
- ✓ ちば環境再生基金へ売り上げの一部を寄付
http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000021987/index.html
※写真①、写真②
- ✓ 第10回「恵比寿麦酒祭り」開催テーマは「大人の街の麦酒祭り」
～10回目を記念して「復興応援マルシェ in 恵比寿」を開催～
http://www.sapporoholdings.jp/news_release/0000020449/index.html
※写真③、写真④

写真①



写真②



写真③



写真④



参考資料

Appendix



SAPPORO

潤いを創造し 豊かさに貢献する

